

# 令和3年度尾張旭市後期高齢者医療特別会計

## 歳入歳出決算認定について

### 討論要旨 川村つよし議員

成果報告書63ページにある収納状況を見ると、市税や保険料等の収納率について前年比較できる一覧表が掲載されております。

コンビニ収納やスマホ決済など利便性が向上し、全体的には収納率の向上が見られますが、後期高齢者医療保険料現年度分普通徴収分の収納率が低下しているのは気になるところです。

令和3年度決算では、低所得者の均等割の軽減、7.75割軽減が7割軽減の本則へと縮小されました。この見直しの影響を受ける被保険者は、世帯主及び世帯の被保険者全員の所得の合計額が43万円以下の世帯で、その世帯の被保険者の年金収入が1人でも80万円を超える世帯に属する方です。愛知県全体の人数は18万4,285人、被保険者全体の約18.5%で、被保険者1人当たり3,657円の値上げです。全体では6億7,000万円余りの値上げが行われたということになりますと8月22日開催の愛知県後期高齢者医療広域連合議会で答弁がありました。

後期高齢者医療は、この3年間、保険料の軽減特例の廃止が続いています。保険料の軽減を受けていた所得の低い方々に対する値上げです。

軽減特例の廃止を強く批判する立場から、反対討論といたします。